

秋冬ダイコン有機栽培で 虫害が軽減できる播種時期

福島県農業総合センター 浜地域研究所
平成17年度農業試験場試験成績概要

1 部門名

野菜 - ダイコン - 作型、病害虫防除
分類コード 03-18-18230000

2 担当者

水野由美子・菅田充・中山秀貴

3 要旨

相双地方の秋冬ダイコンは、8月下旬から9月上旬に播種が行われている。そこで、秋冬ダイコンの有機栽培において、虫害発生を回避できる播種時期について調査した。

- (1) 播種時期は、9月上旬、9月中旬、9月下旬とし、有機質肥料の全量基肥マルチ栽培、無防除で試験した。試験は平成17年に実施した。
- (2) 収穫物を調査したところ、キスジノミハムシやタネバエによる虫害廃棄率は、9月上旬播種が55%、9月中旬播種が20%、9月下旬播種が10%となり、播種時期が遅いほど虫害が軽減される傾向が見られた。
- (3) 根部の肥大は、9月上旬播種および9月中旬播種は良好であったが、9月下旬播種は気温の低下とともに生育が劣り、収穫適期に達する前に凍害が発生した。
- (4) 以上のことから、相双地方における秋冬ダイコン有機栽培(マルチ被覆)では、9月中旬播種が、根の肥大が良く、虫害が少なくなることがわかった。

4 その他の資料等

防虫ネットや不織布を用いた被覆栽培を行うことでも虫害は軽減される(H18参考となる成果「秋冬ダイコン有機栽培では被覆栽培により虫害が軽減される」)。